



依存先を増やす大切さ

「ご無沙汰しております。抱くイメージは、誰にも3カ月に1回のペースで、頼らず、一人で生活できないことを担当している事務の阿南です。」

今回は、心に深く残った言葉をご紹介します。いただきます。

「自立とは依存先を増



「居宅介護支援事業所」の外観(上)と内観

やすこと」

これは、小児科医で東京大学先端科学技術研究センターの准教授でもある熊谷晋一郎先生の言葉です。

「自立」という言葉で頼らず、一人で生活できる様子を思い浮かべます。しかし、ここでは自立するということは依存先を増やすことと述べています。

「どういふことかという

と、本来、人は物であったり他の人であったり、さまざまなものに依存しないと生きていけません。その依存先が多い人は一つ一つに対しての依存度が低いゆえに依存していることを意識していない。もし依存先がたった一つしかない人は、その一つを失ったら生きていけなくなるかもと依存度が増し、依存心が生まれます。依存先が多いということは依存心を持ちにくいと言い換えることができるかもしれません。なぜ、この言葉をコラムで取り上げたかというところ、自宅で療養をされるご家庭では、家族にこれ以上迷惑をかけたくな

☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応 : 午前 9:00 ~ 午後 6:00
 ■定休日 : 土日 (祝日は診療)
 ■訪問地域 : 西東京市、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック 検索
 ※ 2018年4月、名称が「医療法人社団阿南会 まつばらホームクリニック」に変わりました
 ↑診療相談はこちらから

